

令和元年度食の110番 相談状況

	分類	件数
相談者	主婦	4件
	会社員	24件
	自営業	6件
	無職	0件
	不明	151件
	食品等事業者	677件
	その他	102件
計		964件

分類		件数	主な内容及び対応等
イ 食品衛生一般		390件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の夏祭りで焼き鳥などを無償で提供する際に営業許可が必要か問合せを受けたため、提供する範囲が町内会のみであれば許可は不要だが食品の衛生的取り扱いには十分に留意するように説明した。</li> <li>・家庭の台所で調理した料理を持参させコンテストを実施するが、注意点について教示願うという問合せがあったため、手指消毒の徹底、体調不良のチェックの他、作り置きはせず当日調理したものを持参させるなど食品の衛生管理に十分注意するよう説明した。</li> </ul>
ロ 食中毒の予防		8件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店でラーメンを注文したところ、配膳した従業員の化粧創のある手がラーメンのスープに入っていたという相談を受けたため、営業者に対し手袋を装着するなど衛生的に作業するように指導した。</li> <li>・生のラム肉を購入し、自宅で加熱調理して喫食したところ下痢の症状が出たという相談を受けたもの。医療機関の受診を勧めるとともに生肉は細菌に汚染されていることがあるため、喫食の際には十分加熱するよう説明した。</li> </ul>
ハ 苦情	食品	95件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弁当に金属ボルトが混入していたとの苦情を受けたもの。製造施設を確認したところラインの一部のボルトが欠落していることが判明した。これを受けて、事業者に対して報告書の提出を求め、再発防止に取り組むように指導した。</li> </ul>
	店舗等	83件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食肉販売店における従業員の不衛生な取り扱いに関する苦情を受けたもの。事業者に対して作業環境や衛生的取り扱いについて指導した。</li> </ul>
	その他	8件	
	食品等事業者が受理した苦情の報告	65件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者から「『提供されたスムージーにプラスチック片が混入していた』と客からの苦情を受け、店舗を確認したところ、チョコソースのボトルの先端部の一部が混入したと考えられたため、異なる形態のボトルに変更した」との報告を受けたもの。保健所としては再発防止を指導した。</li> </ul>
ニ 表示		134件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「卵の表示の無いケーキを購入し、子供に喫食させたところアレルギー症状が出た」という旨の相談を受けたため、販売施設及び製造施設に立入したところ、卵の表示の無い商品を発見し、製造者に原因究明や再発防止に関する指導を行った。また、既に流通していた当該商品については、事業者が自主回収を実施した。</li> </ul>
ホ その他		181件	
相談延べ件数		964件	
相談等件数(実績)		964件	